

金属・屋根壁用:下地材

アドサビノン

系統 変性エポキシ樹脂



#### 塗装条件

塗装方法	はけ、ローラー、エアレス
希釈率	塗料用シンナー(0~5%)
標準塗布量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	0.2~0.24 kg/m <sup>2</sup> /回

注)上記の数値は塗装作業に必要な使用量の標準数値です。  
標準塗布量は、個々の条件によって異なります。

#### 塗装間隔

項目 \ 温度		23℃
標準塗布間隔	最短	24時間以上
	最長	7日間

<可使時間> 5時間以内/23℃

#### 塗料性状

	項 目	内 容
1	荷 姿	18kgセット(主剤16.2:硬化剤1.8)
2	混 合 比	2液(16.2 : 1.8)
3	色	白
4	つ や	—
5	臭 い	アミン臭・溶剤臭
6	仕 上 が り 感	平滑
7	比 重 / 密 度	1.3~1.6 (g/cm <sup>3</sup> /23℃)
8	溶 剤 比 重	—
9	加 熱 残 分	65~80 (%)
10	粘 度	1400 ± 1000 (mPa・s/23℃)
11	劇 物 表 示	—
12	労 安 法 上 の 表 示 有 害 物	エチルベンゼン、キシレン、酸化亜鉛、酸化チタン、非晶質シリカ、低沸点芳香族ナフサ、1,3,5-トリメチルベンゼン、1,2,4-トリメチルベンゼン、ミネラルスピリット
13	使 用 有 機 溶 剤 種 別	第三種
14	消 防 法 に よ る 危 険 物 区 分	指定可燃物
15	硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分	第四類第二石油類

注)上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

#### 特徴

- ①弱溶剤2液形エポキシ樹脂系の遮熱専用さび止め塗料です。
- ②赤外線をブロックするダブルの効果で反射率をUPします。
- ③密着性・耐久性に優れた緻密で強靱な塗膜が、水分や酸素を遮断し、さびの発生を長期間抑制します。
- ④鉛・クロムなど有害な防錆顔料を含みません。
- ⑤強溶剤タイプと比較し臭気がマイルドで、既存塗膜の縮みや溶解が少なく、幅広い旧塗膜に適応します。
- ⑥防錆力を要求される仕様に最適です。

#### 主な適用素材

鉄骨・鋼板・トタン・カラートタン・ガルバリウム鋼板・電気亜鉛めっき鋼板・ステンレス鋼板・アルミニウム板  
(どぶ漬け溶解亜鉛メッキ鋼材、塩化ビニル被覆鋼板は不適)

#### 適用旧塗膜

合成樹脂調合ペイント・アクリルアルキド樹脂塗料・ポリウレタン樹脂塗料・塩化ゴム塗料など

注)シリコン樹脂塗料・ふっ素樹脂塗料などの場合は、施工できません。

#### 使用上の注意事項

- 1) 油脂類をシンナーで拭き取り、汚れ・塵埃などの汚染付着物を除去清掃してください。(ブラシ・エアブロー・高圧水洗など)
- 2) 錆や黒皮がある場合は、電動工具・手工具で入念に除去してください。
- 3) 素地は十分に乾燥させ、事前に既存塗膜の溶解やリフティングが発生しないことを確認してください。
- 4) 水切り部などで、上下の板が塗料で付着している箇所は、漏水の原因となるため、皮スキなどで縁切りしてください。(塗膜を傷めないように注意)
- 5) 気温5℃以下、湿度85%以上及び結露が懸念されるような場合は、塗装を避けてください。
- 6) 強風時や降雨、降雪のおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- 7) 作業を行う場合には、適切な保護マスク、保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用下さい。
- 8) その他塗料の取扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照して下さい。

※本製品説明書の内容には、予告なくして変更することがありますので、予めご了承ください。